プラントエンジニア 別冊

2022年度
自主保全士成績優秀者
表彰式記念冊子

Active

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

index

P.1 **会長あいさつ**
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会　会長
トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow　河合 満 氏

P.4 **委員長あいさつ**
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会　資格認定委員会 委員長
マツダ株式会社 執行役員　向田　光伸 氏

P.5 **自主保全士検定試験　企業の取り組み事例**

①オリエンタルモーター株式会社
高松カンパニー製造統括部長　入谷　一也 氏

②スズキ株式会社
本社　操業管理部　設備･保全グループ　グループ長　松村　敦 氏

③リョービ株式会社
ダイカスト生産本部　広島工場　工場長　中司　純也 氏
ダイカスト生産本部　広島工場　TPM推進課　係長　濱岡　伸幸 氏

④日産自動車株式会社
いわき工場　工場長　平田　征志 氏

P.9 **2022年度 自主保全士成績優秀者の声**

P.21～ **2022年度 自主保全士検定試験 実施報告**

P.24～ **2022年度 自主保全士成績優秀者表彰式**

自主保全士成績優秀者表彰式が2023年2月22日、愛知県名古屋市にて開催された。表彰式に続き、トヨタ自動車株式会社 Executive Fellowであり、日本プラントメンテナンス協会会長の河合満氏から、自主保全士成績優秀者および団体表彰を受けた4社への激励と今後の期待について、熱いメッセージが贈られた。

目指される先輩になろう

皆さん、まずは自主保全士成績優秀者表彰、誠におめでとうございます。

また、団体表彰を受けた、オリエンタルモーター株式会社、スズキ株式会社、日産自動車株式会社、リョービ株式会社の事例発表、素晴らしい取り組みをいただき、本当にありがとうございました。

新型コロナウィルス感染症拡大防止が続いている状況の中での検定試験の取り組みに対し、本当に頭が下がる思いです。社内外の表彰を受ける・検定試験を受けるという事が如何に大変かを考えると、成績優秀者として表彰をされた皆さんの努力に心より敬意を表します。

皆さんが、各社・各工場で“一級を取得した”、“二級を取得した”、皆さんの背中を見て部下たちや後輩、また、いろいろな方が、『あの先輩を目指そう』、『ああいう人になろう』、と必ず思ってくれると思います。自主保全士成績優秀者として表彰を受けた事に自信を持ち、学んだ内容を行動で示す事が、会社・工場の為になり、後輩たちの為にもなると思います。現場での自主保全が如何に大切か。私自身も自主保全の大切さを体験してきました。設備故障や品質不良といった設備起因の不具合をダメになってから設備課が直す、メーカー保全を待つ、これでは手遅れです。日頃から一番使っている・一番知っている人が自分の機械について考え、常に状態を気にしながら仕事を

2022年度　自主保全士成績優秀者表彰式
河合満会長　激励メッセージ

していく事が何よりも大事だと思います。

自分たちのカーボンニュートラル

今、世間ではカーボンニュートラルという考え方が盛んに言われています。カーボンニュートラルを進めていくには、相当投資をしながら、新しい機械を入れる必要があるという話を度々お聞きします。私自身、仕入れ先様に訪れた際、投資や新しい機械の話を度々お聞きしますが、実際に現場の足元を見ると、不良が出ている、設備が故障している、そしてムダな動きをしている、というようなロスやムダが目につく事があります。

カーボンニュートラルは、設備を変える・最新鋭の機械を入れることがカーボンニュートラルとしての唯一の取り組みではなく、まずは自分たちの足元、設備を徹底的に綺麗にしながら油一滴の漏れも見逃さず、不良を出さないために常に人の訓練に取り組んでいく。いわば、設備状況を万全にしつつ、人の能力向上をしっかりしていく事が大切です。製造現場でのカーボンニュートラルとして、不良を出さない、手直しがない、ロスを出さないモノづくりをする事が、カーボンニュートラルの活動として真っ先に取り組めるものです。

製造現場では、電気を使って、モノを作り、排熱や騒音を出しています。利用する電気を減らす、排熱を減らす、騒音を無くす、身近なところからしっかり見ていくことが大事です。どんなに素晴らしい設備を入れても、設備の状態を管理しなければ、いずれは、故障する・不良品を出す、様々なロスが発生していきます。製造現場でのカーボンニュートラルの取り組みは、設備を万にしつづける不断の取り組みが必要だと思います。

今、製造業は人手不足となっています。工場にはなかなか人が入らず、IT関係・ソフトウェアシステム関係に人が増えている状況です。人口減・少子化という我が国の状況を考えると、製造現場では自働化比率が今まで以上に上がると思います。自働化比率が上がるという事は、保全すべき設備が増えていくという事です。自働化が進むほど、設備の維持管理が重要になります。設備が故障となれば、いくらいい設備を現場に入れても、モノがつくれず、効率も上がりません。このような状況にならないようにするためには、現場に携わる人の感性が大切です。これからの現場には、感性を持った人たちが、しっかり自主保全を行う事がますます大切です。つまり、皆さんは『次世代のキーマン』です。ぜひ自信を持って自主保全を進めて欲しいと思います。

手づくりDXが必要

製造業ではDXへの取り組みも必要となっています。IoT・ICT・AI等の活用が盛んに取り上げられています。一部の専門家は、これからのモノづくりは、AI活用で人を必要としないという話をされる方もいますが、私は、『新しいモノを作っていくには、必ず人の手が必要。人が作り込んでいく。AIも人がどう教えるかで変わる。AIは道具』と考えています。DXを進めるには、“なぜ進めるか?”、皆さんがIoT・ICT・AIを道具として使い、兆候管理を行い、不具合となる前に直す・再発防止を行っていくことになります。データを取りながら、設備の状態をしっかり管理できれば、工程で良品を作り込めば、検査は要らなくなります。DXは効率を上げる・問題解決の道具と考えています。

例えば、DXの内容として、見えないものを見えるようにする取り組みは、現場で一番使っている人が最も関わるべきと思います。一番使っている人が、“困っている事を見るには?”、“〇〇が見えたら?”という感性を持って、どうしたら良いかを考え、DXを道具として使っていく事が大切です。今日表彰された皆さんが、感性を持つキーマンとなり、現場でのDXをどんどん進めて欲しいと思います。

自分たちで考える「からくり改善」

現場の自働化が進めば進むほど設備管理・保全は大変となっていきます。私は設備を作るには徹底的にシンプルにする必要があると考えています。仕事をよく知る人が、自働化を考えるとシンプルになります。しかし卓上での計算だけ・頭だけで考えた優秀な人が考えた場合、難しく複雑な設備になりがちです。複雑な設備となれば、故障した場合、直ぐに直せない事になりがちです。現場でモノを作っていく上には、皆さんが主力となり、必要なものを考えていく事が大切です。また、日本プラントメンテナンス協会では、「からくり改善」を提唱・普及しています。現場で考えられた「からくり改善」は、本当にシンプルなものが多いです。自分たちで考えたものだから、自分たちで維持・管理できます。「からくり改善」は、“もっといいものないかな”、“もう少しこうした方がいい”というように考えて、どんどん進化していきます。現場の活性化にすごく有効だと思いますので、皆さんの職場でも、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

これからがスタート

皆さんは、自主保全士検定を成績優秀者として合格・表彰されました。検定を通じて学んだ知識を職場の中で自信をもって実践してください。『合格した時がゴールではなく、新たなスタート』です。自主保全士検定に合格した事で終わりではなく、新たなスタートなのです。皆さんが“一級にふさわしい”、“二級にふさわしい”、“優秀な企業にふさわしい”取り組みを継続してさらに現場を進化させていくことが、何よりも大切だと思います。今日を境に、新しいスタートという気持ちで、また、職場で“目指される先輩”として頑張っていただくことを祈念致します。

本日は本当におめでとうございました。

※文中の「自働化」について
トヨタ自動車では単に人手作業を機械に置き換える自動化と区別し、ニンベンのついた自働化を使う。
機械設備や品質の異常など何らかの異常が生じた場合、機械設備が自ら異常を検知して自動停止する。

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
資格認定委員会　委員長　あいさつ

成績優秀者への激励

（マツダ株式会社 執行役員）
向田 光伸 氏

本日は、「自主保全士優秀者表彰式」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の表彰式は、2022年度自主保全士検定試験において、特に優秀な成績を修めた合格者の方の功績を表彰する式典です。

表彰をお受けになる成績優秀者のみなさまには、心からお祝い申しあげます。

また、式典にご出席のみなさま（成績優秀者の後方席）におかれましては、お忙しい中、当会の表彰式にお越しくださいまして誠にありがとうございます。

さて、「公益社団法人日本プラントメンテナンス協会」は、モノづくり・メンテナンスを通じて、産業界の発展に寄与するため、「TPM」、「からくり改善」、「自主保全士」など、さまざまな事業を展開しております。

そのなかでも、「自主保全士検定試験」は、製造に携わる方々に求められる知識や技能に、保全の機能や管理技術を加えた、「設備に強いオペレーター」を育成することを目的としており、幅広い業種の方々に、ご利用いただいております。

2001年度より検定試験を開始し、今年度で22年目となります。

累計の利用者数は、約26万5千人、認定者は、約13万5千人に及ぶ、製造業界向けの試験としては、国内最大級の資格試験となっております。

2022年度の検定試験においては、利用者が13,293名となり、保全技能を付加した製造にかかわる人材育成の関心の高さを示す一つの数字と考えております。

当会で実施している「メンテナンス実態調査」や、国の調査でも、製造業における保全分野の関心が高まっており、「自主保全士」にかかる期待は大きくなる中で、優秀者のみなさまの更なる活躍を期待しております。また、私自身、2019年度に自主保全士1級を受験しましたが、約25年続けてきた「TPM」、「自主保全」の知識が役立っていると実感しております。

自主保全の実践は必ず自身の力となるため、今回得た知識を実践の場で存分に発揮いただいて、応用力を身に着けながら、更なる磨きをかけていただければ幸いです。

今回、授与される「自主保全士検定試験の成績優秀者表彰」が、今後のみなさまの活躍を陰ながら支えられるものとして、そして、所属企業、上司、同僚、部下の方にアピールできるものとなるように期待しております。

今後も、当会では、製造現場で最前線を担うみなさまの技能、知識の向上のため、またそれをアピールできる場を提供するため、役職員一同、精進してまいります。

最後になりますが、改めまして、表彰をお受けになる成績優秀者と各企業のみなさまに、心からお祝い申しあげて、挨拶とさせていただきます。

オリエンタルモーター株式会社

自主保全士育成による職場の変化

高松カンパニー製造統括部長
入谷　一也 氏

オリエンタルモーター株式会社からは高松カンパニー製造統括部長の入谷一也様から「自主保全士育成による職場の変化」と題して発表いただきました。同社ではTPM導入をきっかけとして、強制劣化を削減できる設備に強いオペレーターを育成することにより、保全チームが改良保全・予防保全に取組む時間を捻出し、故障状況把握時間を減らすというビジョンのもと2019年度より自主保全士検定試験に取組み累計で約200名の認定者数となり、近年では女性の認定者も増加しているそうです。取得支援として社内の勉強会と教育キットを活用して実践で活かせる学習を行うとともに、初回受験料を会社が負担することや合格者の表彰、1級取得の奨励金など社員のモチベーション向上の施策も行われており、充実した支援体制があることをお話しいただきました。同社の教育・学習が実践・成果に繋がる事例も紹介され知識としての学習ではなく実践に繋がる資格という点を具現化した活動に参加者からも多くの関心が寄せられていました。発表の最後には「『設備を変え、人を変え、職場を変える』現場で働く全員が原理・原則に基づいた自主保全活動ができるように自主保全士検定を更に推し進め、生き生きと働ける職場づくりを継続していきます。」と力強くお話されていたことが印象的でした。

スズキ株式会社

スズキの活動のご紹介

本社　操業管理部
設備･保全グループ　グループ長
松村　敦 氏

スズキ株式会社からは操業管理部　設備･保全グループ　松村敦様から「スズキの活動のご紹介」と題して自主保全の取組み状況と自主保全士資格取得の狙いを中心にご発表いただきました。同社では現在、自主保全体制としては厳密なTPMの形はとっておらず、専門保全としての技術グループ保全、各製造グループ保全が主体となって活動し、製造部門のオペレーターによる自主保全が協力して保全に取組む体制となっており、この中で「人づくり」を目的として自主保全取得を目指しており「監督者には工程管理に必要な知識を学ばせたい」、「専門保全が有効な働きをするために自主保全の対象を拡充したい」、「オペレーターの異常に対する認識や感度を上げたい」、「カーボンニュートラルへの対応としてエネルギーロスを減らしたい」このような様々な点を学習や資格取得を通じて取組んでいるとのことでした。受験取組み当初は監督者の方が中心となり受験･資格認定され、現在では専門保全、オペレーターの方も多く受検に取組まれているとのことで、現場監督者が範を示す取組となっている点は、今後自主保全に取組まれる企業にとっても参考となるお話でした。

学習支援としても、社内講座を実施しWeb会議ツールを活用して全拠点で受講できる体制となっており学習のしやすい環境づくりに力を入れているということが感じられる発表でした。

リョービ株式会社

自主保全士合格率向上の取り組み

～自主保全士を通じたPM意識向上と人財育成～

ダイカスト生産本部
広島工場　工場長
中司　純也 氏

ダイカスト生産本部　広島工場
TPM推進課　係長
濱岡　伸幸 氏

リョービ株式会社からはダイカスト生産本部　広島工場　工場長 中司 純也様、TPM推進課　濱岡 伸幸様から「自主保全士合格率向上の取り組み～ 自主保全士を通じたＰＭ意識向上と人財育成～」と題してTPM活動の概要と自主保全士合格率向上の取組みなどについてご発表いただきました。同社は長年TPM活動に取組まれていて、現在はPartⅢとしてAD特別賞の受審を目指して活動を行われているとのことでした。自主保全士は2005年にTPM推進課･教育訓練分科会長4名で受験し4名が合格、翌年から管理監督者や保全部門･自主保全リーダーが受験し、年を追うごとに管理監督者、一般職、新入社員と対象者を拡大して受験を継続されています。その中で、テキストの配布、社内講座の実施、出題傾向の作成、模擬テストの実施に加えて、内容を毎年のようにブラッシュアップして傾向と対策を独自に実施している内容に、教育や学習支援する方々の努力が大きい点にも気が付かされました。なにより、受験するからには全員合格するというお話や、他資格との相乗効果を狙って技能検定（機械保全、機械加工、ダイカストなど）などにも挑戦をしようと促す内容をお話しする濱岡様の熱意が伝わってくる発表でした。

日産自動車株式会社

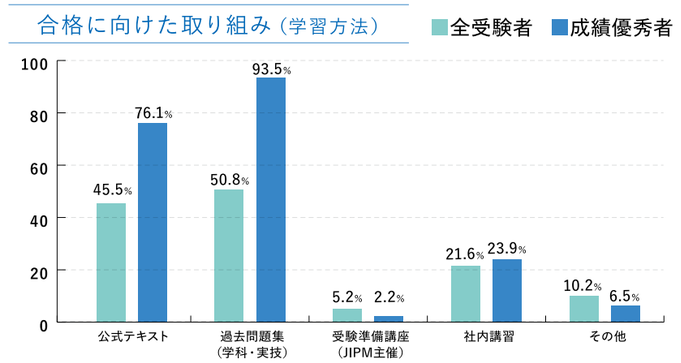
TPM活動を通した人財育成の取組み

いわき工場　工場長
平田　征志 氏

日産自動車株式会社からは、いわき工場工場長 平田 征志様から「TPM活動を通した人財育成の取組み」と題して同社いわき工場の取組みを中心にご発表いただきました。同社は1980年代にTPM活動を開始し、各工場がTPM優秀賞を受賞するなど盛んに活動されていましたが、その後活動が下火になっていたそうです。その間、設備総合効率は下降傾向となっていたそうですが、TPM・自主保全によって防ぐことができるロスが多くあることがわかり、2019年にTPM原点回帰をキックオフしたことで自主保全士取得も大幅に増加（累計取得者数1358名）しているとのことです。いわき工場では工場長方針、いわき工場のありたい姿を実現するために「1人1資格活動」、「TPM道場」、「工場長によるTPM診断」、「新ラインのTPMを造りこむ」などの実践的な活動を通じて自主保全士取得へチャレンジする土壌が醸成されTPM活動も進化・深化を続ける姿を知ることが出来ました。自主保全1ステップから3ステップを繰り返し行うことで「『儲ける工場体質を作る為のTPM』を定着させ、30年続くTPMとする。」という平田工場長のお話から、同社におけるトップランナーとしてTPM活動を牽引するという強い決意が感じられたお話でした。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

1. 合格に向けた取り組み（学習方法）
2. 成績優秀者受賞のよろこびの声（受賞の感想、今後の抱負など）
3. 「自主保全士」を取得したことで業務に役立ったこと



2級　愛知製鋼株式会社
田栗　一歩 さん

1 ❶❷❸

2 自主保全士2級では、いい成績が残せることが出来てとても自信が付きました。今後、現場の自主保全活動に活かして生産性向上に寄与し、会社発展に貢献していきます。そして、更なる高みを目指して自主保全士検定1級の取得を目指して勉強に励みます。

3 自主保全士2級を学んだことにより、自主保全の考え方や専門用語がわかり、スムーズに仕事を進められるようになりました。これからの職場では自動化が進み、これまで以上に自主保全活動が重要になってきますので、役立てられるように努めていきます。

1級　株式会社アドヴィックス
織田　道博 さん

1 ❶❷❸❺

2 このような賞を頂き、大変嬉しく思います。自主保全士1級の受験にあたり学習を始めた頃は知らないことが多く、合格できるか不安でしたが無事合格することができてほっとしました。試験に合格して終わりではなくスタートラインに立ったばかりだと思い、今後は学習で学んだ知識を職場で活かしていきお客様に喜んで頂けるような良い品質の製品をつくっていきたいです。

3 清掃とは、清掃をしてゴミ・汚れのないきれいな状態にする事だと思っていましたが初期清掃で「清掃は点検なり」を知り、考え方や見方が大きく変わりました。清掃を通してボルト・ナットの合いマークで緩みを発見し、増し締めすることで設備のトラブル発生を防ぐことができました。

※掲載は企業名および氏名の五十音順です

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 小名浜製錬株式会社 **菅野 美紅さん**

1 ❶ ❷ ❸

2 このような素晴らしい賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。今後は現場を通じて、さらに保全に対する意識を高めていくとともに、次は自主保全士1級の取得を目指してより深い知識を身に付けていきたいです。

3 私は普段分析業務を行っており、様々な分析装置を取扱っています。自主保全の重要性について学んだ事により、部品の劣化や破損に対して今まで以上に目を向けるようになりました。その結果、今まで気が付かなかった測定装置の部品の劣化を早期に発見し、新しい部品と交換する事ができました。部品を交換した事により検量線の相関係数が安定し、相関係数の不良による再測定の回数が減少しました。この経験から、自主保全は装置の故障だけでなく、性能の低下も防ぐことができる重要な活動であるという事を改めて認識できました。

1級 オリエンタルモーター株式会社 **大西 章仁さん**

1 ❶ ❷ ❸

2 このような賞をいただき、大変光栄に思います。これまで実践してきた自主保全活動が、今回の試験結果につながりました。試験勉強も含めて学んできたことを今後の自主保全活動の継続、またメンバーの育成に生かしていきたいと思います。

3 自主保全活動の各ステップの目的や考え方、進め方を改めて整理し理解できたことで、実践活動の中でも今何をすべきか、今行っている活動が次のステップにどう繋がっていくか理解しながら活動を進められるようになりました。また、設備に関する基礎知識を得られたことで、日々の生産活動の中でちょっとした設備の異常に早く気付くことができるようになり、壊れる前に復元することで生産性を向上させることができました。

1級 オリエンタルモーター株式会社 **長澤 剛さん**

1 ❷ ❸

2 このような賞をいただき大変うれしく感じています。学んだことを実践に移し、職場メンバーと改善活動に活かしていきたいと思います。

3 ＴＰＭ活動の取り組みを進めていますが、自主保全士の資格取得を通して、考え方、進め方を体系立てて学び、理解することが出来ました。良いものを生産するには２Ｓが基本と、過去から学んできましたが、設備に強い人づくり、ロスの無い職場づくり、生産体制づくりのスタートが清掃から始まることをあらためて強く感じました。設備・治具を導入する際に大切なこと、導入後の維持管理に大切なこと、両輪を回しながら、職場改善を進めていきたいと思います。

2級 オリエンタルモーター株式会社 **武藤 奈津子さん**

1 ❶ ❸

2 この度はこのような賞をいただき思いがけない事で大変喜んでおります。今回得た自主保全の知識を職場内で活かせるよう取り組んで参ります。

3 ＱＣストーリー、ECRSの原則を利用した事で、業務改善や無駄取りを順序立てて進める事が出来ました。今後の活動としては、自主保全の第一ステップである【初期清掃】から始め、微欠陥や異常に気付く力を備え、故障を未然に防止する上で【初期清掃】がとても重要である事を職場内で共有化して行きたいと思います。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 株式会社ジェイテクト **中岡 哲也さん**

1 ❶ ❷ ❸

2 自主保全士2級の成績優秀者に選ばれまして、とても光栄に思います。今回、自主保全士2級において学んだことを現場で活かし、より安全で環境の良い職場を目指し努力します。さらに、より自主保全の知識を深めるために自主保全士1級にも今後挑戦したいと考えています。

3 故障ゼロへの5つの対策を学んだことで、設備故障を無くすための改善に活かす事ができました。設備故障を無くすためには、現場だけではなく、初期の設計段階から無くす事が大切だと学びました。

2級 ジヤトコ株式会社 **渡辺 紗世さん**

1 ❶ ❷ ❸

2 受賞をしたことを聞いた時は驚きましたが、一緒に受験した仲間たちとの自主学習の成果が出たのだと、嬉しく思います。これを機に、学んだことを現場に伝えていき活気のある職場作りを行いたいです。

3 今までの自主保全活動は、活動を行いたくても何から始めれば良いのか分からないといったシーンが多くありました。しかし自主保全士の受験に伴い学習を進めていくうちに目の付け所や自主保全の進め方を理解することが出来るようになりました。現在は自職場を離れ教育期間中ですが、現場に戻る4月からは学んだことを現場の状況と照らし合わせながら活動に取り組む事が出来るので楽しみです。

1級 スズキ株式会社 **岡本 剛士さん**

1 ❷ ❸

2 合格するために頑張りましたが、まさか成績優秀者となるとは思ってもいませんでした。この知識を活かせるよう、日常業務に取り組んでいきたいと思います。

3 自主保全士の勉強を行い、点検表の作成や重要度のランク付けの能力が身についたと感じます。自主保全の試験後に点検すべきところで抜けていた場所や項目、頻度など点検表を新たに作成更新する事が出来ています。今は保全内部での予防保全活動のための点検を行っていますが、これからさらに発展させてオペレーターの方の日常点検まで更新できたらプレス・車体課の設備稼働率も向上できるのではと思っています。実現に向けて頑張ります。

2級 スズキ株式会社 **鈴木 幹人さん**

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 成績優秀者に選出していただき大変光栄に思います。今回の受験で自主保全とは何か？ということを理解することが出来たので、職場内での自主保全活動に貢献していくと同時に、1級にも挑戦していきたいと思います。

3 私は今期から保全マンになるために教育を受けていましたが、その過程で自主保全士検定の受験を勧められました。受験勉強を進めていくと、それまで教育で学んだ事の理解をより深めることが出来、自身のスキルアップに繋げることが出来たと思います。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 株式会社SUBARU 門倉 隆佑さん

1 ❶ ❷ ❸ ❻

2 このような素晴らしい賞をいただくことができ、とても光栄に思います。自主保全士検定で学んだ知識をもとに、さらに生産現場への理解を深め、設備導入や設備改善などの生産技術業務に活かしていきたいです。

3 自主保全士の勉強をする前は漠然としか設備を見ていませんでしたが、学習を進めていく内に、「どのような仕組みで設備が動いているのだろう」、「なぜチョコ停が起きてしまうのだろう」というように、設備に対して興味を持って触れることができるようになりました。また、生産実習で実際にオペレーターとして勤務した際には、自工程の設備の初期清掃を行うなど、自主保全活動に率先して取り組むことができました。

1級 株式会社SUBARU 渡部 潤さん

1 ❶ ❷ ❸

2 成績優秀者として合格できたことを大変嬉しく思います。今回の試験で勉強したことを活かして製造現場の改善、効率化に貢献していきたいです。

3 初期清掃等、自主保全にて必要な知識を学んだことで、製造現場の作業者目線で設備の異常や点検、清掃ができるような設備を考えるようになりました。その結果、製造現場に寄り添った設備仕様を検討できるようになりました。生産機能だけでなく、保全性にも配慮された設備が本来のあるべき姿であると理解することができました。

2級 株式会社セキソー 平林 孝太さん

1 ❺

2 成績優秀者として選出いただき、大変嬉しく思っております。今後は学んだことを活かし、実際に自主保全、計画保全、品質保全活動に取り組んでいきたいです。

3 自社のTPM活動は、自主保全、計画保全、品質保全を柱としております。現在は自主保全活動の一環として、設備の初期清掃に取り組んでおります。その結果、油圧ホースの油のにじみ、ボルトやナットの欠落、冷却用ファンのゴミによる詰まり等の異常を発見できました。このような活動を通じ、ちょっとした異常に気づける設備環境を整えると共に、計画保全における点検項目や周期などを見直す活動に役立てたいと考えております。さらに自主保全活動を通して設備の構造を知ることにより、品質の要になる機器などのメンテナンスにも役立てたいです。

2級 第一三共プロファーマ株式会社 窪 和彩さん

1 ❶ ❷

2 まず合格できたことが嬉しかったですが、更に成績優秀賞を受賞でき大変嬉しく思います。今後はテキストを再度確認し、自主保全に関する知識を深め、業務に少しでも活かせることを増やせるようにしていきたいと思います。

3 自主保全について学んだことにより、生産や清掃における種々の作業に対して、潜在欠陥の可能性をこれまで以上に意識し、関心を向けるようになりました。更に、作業改善の方法や観点を理解したことにより、ムダな作業や動作を考え直すきっかけになり、作業の改善点を見つけやすくなりました。また、日々の正しい操作実施に対する意識も一層高まりました。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 大日精化工業株式会社 佐藤 裕之さん

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 折角の機会なので、しっかりと自主保全に関する知識を身につけたいと考え試験の準備を進めました。成績優秀者に選出して頂いた事は自信に繋がり、結果を出せた事も素直に嬉しいです。実際の業務や職場環境の改善に活かしていきたいと思います。

3 自分が業務で取り扱う試験機器について、不具合が発生し易いポイントやメンテナンスについても理解を深められたと思います。過去には突発の設備故障により試作スケジュールの変更を余儀なくされた事もありましたが、今後は「自分の設備は自分で守る」意識が高まった事で設備トラブルの防止にも繋げられると考えています。また、TPM活動は関係部署を巻き込む事も重要であると思いますので、展開していく上で自部門の活動に留まらないよう努力したいと思います。

2級 太平洋セメント株式会社 酒井 達矢さん

1 ❷ ❸

2 この度は、このような栄誉ある賞を頂きありがとうございます。今回の受賞は自分の努力のみではなく、工場関係者と共に学習した結果です。今後は自主保全士の学習にて習得した知識を活かし、セメント製造工程のプロセススタッフとして邁進していきたく存じます。

3 自主保全士の学習にて、TPMは全員参加の生産保全であると学びました。私はセメント製造プロセスの担当者として、現場の方に一任するのではなく、お互いの意見や知見、懸念点を話し合っていき、当事者意識を常に持って、工場を改善していこうと思います。

2級 武田薬品工業株式会社 清水 雄介さん

1 ❶ ❷ ❸

2 会社推奨取得資格であり、取得している社員も多くいるので受験しました。製造業界に携わるようになって１年も満たず、知識がほとんどないようなものなのでテキストと問題集をとにかくやりこみました。表彰式で発表いただいた実例も大変参考にしながら仕事に生かしたいと思います。

3 整理整頓について特に意識を持つようになりました。物が散らかっている状況が、紛失や製造エリアでの異物混入につながります。生産が止まってしまうようなリスクをできる限り減らし、安定生産に貢献できるように努めています。

1級 株式会社デンソー 五箇野 樹さん

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 成績優秀者を受賞する事ができ大変うれしく思います。このような形で努力してきた成果を実感する事ができ頑張って良かったと思うと同時に知識だけで終わることなく実際の業務で活かせるよう努力していきたいと思います。

3 これまで異常が起こった時はあまり自身で考えることなく先輩や保全部門の人に依頼していましたが基礎的な設備の知識や分析手法を学んだ事で、自身で考えることができるようになりました。また、実際に慢性化していたチョコ停に対し分析手法を使い様々な要因を出し対策することで撲滅することができました。今後も学んだことを活かし実践していきます。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 トヨタ自動車株式会社 齋藤 諒さん

1	❶
2	まさかこのような賞をいただけるとは思ってもみなかったのでとても驚きました。 頑張って本当に良かったと思いました。この賞に恥じぬように今後も精進して、1級も取得したいと思います。
3	設備周りの４Ｓが見違えるようになり、異常の有無に気づきやすくなりました。綺麗な環境で業務ができることはこの資格のおかげと思います。ありがとうございました。

1級 トヨタ自動車株式会社 山本 廉志さん

1	❶ ❷ ❸
2	努力して勉強した結果が成績優秀者につながり嬉しく思います。今回得た知識を業務に活かし、実務面のレベルアップを図っていきます。また今後職場で受験するメンバーのサポートをしていきたいと考えています。
3	基本条件の整備や５Ｓなどの重要性を今回の学習を通じて再認識することができ、今まで以上に意欲的に取り組むことができています。その結果、設備が故障停止する前に微欠陥を抽出し対応する事ができました。その他にも、改善の順序やアイデアの出し方などを学び、効率化を進めていく際に役立っています。

2級 株式会社豊田自動織機 内田 智也さん

1	❷ ❸
2	自主保全士検定試験での目標が、立派な保全マンになる上での成績優秀者を受賞することだったので、目標を達成できてとてもうれしいです。今後は現場に配属された時にしっかり役に立てるように、エアーや機械保全なども熱心に取り組んでいきたいです。
3	設備や職場をきれいに４Ｓすることで、強制劣化を防止したり、微欠陥の発見につながったり、備品の管理がしっかりできたりすることなどの様々なメリットを知ることができ、自分の職場で行われているニトリル手袋の在庫管理やパソコンに保存されている手順書などの存在している理由を知り、それらの活動を積極的に行っていこうと思うことができました。

2級 株式会社豊田自動織機 陣内 星河さん

1	❷ ❸
2	この度は、このような賞を受賞でき心から嬉しく思います。私自身も、スポーツ以外で表彰されるのは初めてだったので、とてもありがたい体験ができました。これからも学びを忘れず努力していきたいと思います。
3	私は、まだ実務経験がないので、これから配属されるに当たって自主保全士の勉強で学んだ日常点検の大切さを活かして作業していきたいと思います。日常点検を怠ると異常や故障が増えていきます。すると生産性にも影響が出てくると思うので、日常点検を行い、設備を知り、設備に強いオペレーターになりたいと思いました。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 株式会社豊田自動織機 村上 駿さん

1	❷ ❸
2	私は、自主保全士合格のために、たくさんの過去問題を解きました。問題を解くにあたってわからない単語や物は、講師の方々に訊いたり、自分で調べたりした後、紙にまとめておくことで何度も見直せるように自分なりに工夫して勉強しました。その甲斐あって試験ではわからないことがほとんど無く、合格にとどまらず成績優秀者に選ばれてとてもうれしいです。
3	私は四月から現場に配属されて働くことになります。配属先は現時点ではまだ分かりかねますが、自主保全活動はどこへ行っても必要なことなので、資格取得だけで終わるのではなく、これからの仕事で知識を有効に活用して現場で活躍していきたいです。

2級 ナブテスコ株式会社 村上 正人さん

1	❶ ❷ ❸
2	成績優秀者として選出いただき大変嬉しく思います。今回学習した考え方、知識をきちんと定着させられるよう現場で活用、実践していきたいと思います。さらには社内に自主保全の考え方、TPM活動を浸透させることも念頭に入れ今後の業務に努めていきたいと思います。
3	初期清掃の重要性やTPM活動の進め方を学んだことで、実際の活動に参加した際に、より細かい部分まで汚れやがたつき等の発見に繋げられたと思います。また資格取得の中で学んだ分析手法を活用し少しずつですが、トラブルや不具合の発生要因をより深いところまで深堀し対策に繋げるということができるようになっています。

2級 日産自動車株式会社 岩瀬 勇人さん

1	❶ ❷ ❸
2	成績優秀者を受賞出来たことは大変励みになりました。今回学習し得られた知識・技能を自主保全で発揮し、生産性の向上に繋げていきます。
3	初期清掃のねらいと重要性を学んだ事で、これまで以上に設備に触れる事が増えました。設備に触れる事で正常・異常な状態を見極め、異常の早期発見、即処置へと繋げられています。その結果、様々なロスの低減が図れて生産性の向上に繋げる事が出来ています。

2級 日産自動車株式会社 岩本 直也さん

1	❷ ❸ ❺
2	この度は自主保全士2級において成績優秀者に選出された事、大変喜ばしく思っております。今後は今回学んだことを実践活動で役立てて設備に強いオペレーターを目指します。
3	自主保全士を取得したことで今まで以上に初期清掃に力を入れるようになり、普段手の届かないような場所の清掃などを精力的に行い、その結果設備の切粉溜まりが原因でクーラントの飛散が発生している箇所を発見できました。清掃を実施して飛散をなくす事で経費の削減をする事にも成功し、このような経験を通して初期清掃を実施する事で発生源対策などにも繋がっていくものだと改めて学ことができました。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 日産自動車株式会社 久永 達也さん

1 ❶ ❷ ❸

2 自主保全士の試験勉強を始めた当初は、内容を深く理解していない事が多々あったため、過去問を繰り返し解いて、分からない部分があれば先輩や上司に教えてもらうことで理解を深めていきました。そのため、成績優秀者として選出されたことは大変嬉しく思います。今後は1級に挑戦する予定のため、日々の業務の中で自主保全の内容を常に意識して取り組んでいきます。

3 日常業務では主に工具の不具合改善や、原価低減を進める改善活動を担当していますが、自主保全を学んだ中で、「設備の効率化を阻害するロス」の要因の中に、「刃具交換ロス」があることを学びました。工具が突発で破損すると私達の後工程でもある製造現場にも迷惑をかけてしまう為、小さな不具合でも3現主義を徹底し、再発防止を図り、生産性向上にも貢献できることは仕事のやりがいとも感じています。また起きた不具合から潜在している他のリスクにも気を配れるようになり、改めて自主保全の重要性を認識しました。

2級 日星電気株式会社 望月 小羊子さん

1 ❶ ❷ ❸

2 長年、非正規雇用で工場を転々とする中で何か強みになるものをと思い受験しました。今回このような賞を頂いたことで自信が湧き、以前より積極的に提案・行動が出来るようになりつつあります。これからも現場で実践を重ね、自主保全士の名に恥じぬ現場のエキスパートを目指します！応援してくださった職場の皆様にも感謝です。ありがとうございました！

3 ささいな欠陥の見落とし、見過ごしが後で重大なロスを生むという意識を持ち、日常点検や5S、作業手順により気を配るようになりました。小さな改善の積み重ねではありますが、作業性と品質の向上に貢献できると感じています。

2級 日産自動車株式会社 山野辺 誠さん

1 ❶ ❷ ❸ ❻

2 成績優秀者に選ばれたのも努力が報われたのだと大変嬉しく思います。今後もこの結果に満足する事なく、学んだ知識を活かせる業務に取り組んでいき、次は1級取得を目指し努力していきたいと思います。

3 今回資格取得に向けて学習することで、全員参加でやる事に意味があると実感しました。今後は今まで以上に清掃や点検の重要性を意識して作業を行い生産性と品質向上に努めていきたいと思います。

2級 日本ゼオン株式会社 西村 成貴さん

1 ❶ ❷ ❸

2 この度は栄誉ある賞をいただくことができ大変嬉しく思います。今後も自主保全に関する知識を深め、周囲にも良い影響を与えられる取り組みができるよう日々精進していきたいと思います。

3 私は、自主保全士を取得したことで5Sの重要性への理解が深まりました。中でも、新入社員の私にも容易に取り組むことができる整理・整頓・清掃を常に意識し、日々の業務で率先して実施するようになりました。その結果、現在は自部署の5S責任者を任され職場に貢献することができています。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

1級 日本ポリテック株式会社 山下 浩一さん

1 ❶ ❷ ❸

2 資格取得への努力の結果、成績優秀者に選ばれ大変嬉しく感じています。今回学んだ知識を業務に活かせるように全員参加の生産保全を浸透させて、生産性を高めていきたいと思います。

3 自主保全士の検定試験は、生産の基本・自主保全全般・効率化・改善解析・16大ロス・設備保全の基礎など幅広い知識が必要となります。この基礎知識により、今までとは違った視点で物事が考えられるようになり、またアドバイスが出来るようになりました。例として設備の問題に対して、設備保全の知識をベースにQCストーリーのステップやECRS・動作研究などを活用し、問題の解決及び改善に繋げることが出来ました。

2級 パーソル ファクトリーパートナーズ株式会社 湯浅 翔太さん

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 職場にて製造部でも保全業務を行える体制づくりを行っており、保全知識の無いオペレーターからスキルアップしたいと思っていた時に自主保全士という資格を知り受験しました。会社からも研修という形でフォローしていただきながら日々テキストで学んだ事を現場の設備を触り、実践した結果がこのような形で実を結び嬉しく思います。今回学んだ事を自分だけでなく仲間にも伝達教育を行い設備に強いオペレーター集団を目指して精進していきます。

3 設備の異音や清掃時の汚れ方をより意識するようになりクライアントと共に改善する機会が増えました。そのことが評価され製造派遣以外にも保全スタッフを置くことを検討していただくきっかけにもなりました。

1級 パナソニックエコシステムズ株式会社 村木 俊介さん

1 ❶ ❷ ❸

2 幅広いモノづくりの知識と、自主保全ステップを学ぶことができたうえに、優秀者賞を受賞でき誠に光栄です。自社工場の自主保全活動を盛り上げていきます。

3 本年度より自主保全活動を展開する中で、現場へ自主保全の支援・指導をする上で、役に立っております。初期清掃、基本条件の重要性を説き、私自身も一緒に初期清掃を実施し、設備に触れることで、日々学ぶことばかりです。工場部門一体となった自主保全活動を継続していけるように、自主保全で学んだことを活かしていきます。

2級 パナソニックスイッチングテクノロジーズ株式会社 髙橋 佳太さん

1 ❷ ❸

2 成績優秀者に選出して頂き、大変光栄に思います。今回、受験するに当たり身に付けた知識を日々の業務の中で上手く使いこなせるように取り組んでいきます。また、今後も学習を続け、自主保全士1級合格を目標に励んでいきます。

3 三現主義の考え方の重要性を学習し、日々の業務の中でも意識して行動する機会が増えました。特に、異常が発生した際は、自分自身の目でしっかりと現場、現物、現実(現象)を確認して、正しい状況や状態を把握し、正しい判断や処置を取ることができるように心掛けています。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

1級 日野自動車株式会社 佐々木 涼さん

1 ❶ ❷ ❸ ❻

2 上司より自主保全士検定試験を勧めていただき、試験を受けるからにはしっかり勉強しないといけないと思い勉強を取り組んだ結果、成績優秀者を受賞することができて嬉しく思います。今回得られた知識を現場で活用できる様に取り組んでいくのと同時に職場内で資格取得者が増える様　サポートできたらなと思います。

3 設備の点検・清掃を見易く、行い易くなるような設備を作っていくことが大切だと学び、工場内を見渡してみると改善すれば点検や清掃がもっと行い易くなる場所がたくさんあることを気付ける様になりました。

2級 富士フイルム静岡株式会社 望月 知穂さん

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 今回このような素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思います。努力した事が結果に繋がり自分自身への自信にも繋がりました。今後は学んだ知識を単なる知識としてではなく自主保全を定着させたり、日々の業務に取り入れて自主保全活動に少しでも貢献できるよう取組んでいきたいと思います。

3 設備のメンテナンスが以前より理解できるようになり、結果的に円滑な業務に繋がったと思います。まだ目に見えた生産性への効果は出ていませんが予防保全が重要だという事を学んだので、よりよい職場になるよう実践的内容に落とし込んだ活動をしていきます。

1級 富士フイルムマニュファクチャリング株式会社 伊藤 友也さん

1 ❶ ❷ ❸ ❺

2 設備に直接関わる業務をしておらず知識不足でしたが、本資格はどのような業務にも活用出来る魅力を感じた為、受講しました。折角資格取得するのであれば、完璧に理解したく勉強した結果、1級成績優秀者という大変名誉な賞をいただく事に繋がりました。得た知識を今後の業務で活用していきます。

3 生産に関する基礎的な部分を再認識する事に繋がりました。QCやIE、図面の見方といった製造現場として取得しておくべき知識や、働く上で最も重要である「安全」に関する事も学びなおす事が出来た事で、確実な現場管理/改善活動に活かす事が出来ています。

2級 株式会社ブリヂストン 山田 翔太さん

1 ❶ ❷ ❸

2 やるからには良い成績を残そうという気持ちで取り組んだため、成績優秀者という形で結果に反映されて大変嬉しく思います。来年以降１級を受験し、再び成績優秀者に選ばれるよう頑張ります。

3 自身は設備設計者という立場での受験となりましたが、自主保全の重要性と大変さを学ぶことで保全性の良い設備設計がいかに重要かを再認識しました。今回の経験をもとに、今後は今まで以上に製造現場の生の声に耳を傾け、使用者の立場に立った設備設計を心がけていきたいと思いました。

2022年度成績優秀者コメント

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト ❷ 過去問題集（学科） ❸ 過去問題集（実技） ❹ 受験準備講座（JIPM主催） ❺ 社内講習 ❻ その他

2級 本田技研工業株式会社 伊藤 健人さん

1 ❷ ❸

2 今回このような形で賞をいただき大変嬉しく思います。受験のために勉強した内容が実務に活きる場面が多く自身のスキルアップに繋がりました。一番は自信を得たことだと思います。これからもこの賞を励みに一層努力していきたいと思います。

3 毎日取り組んでいた５Ｗ１Ｈの作業効率をさらに向上させるきっかけになりました。受験を通して今まであやふやだったものが言語化されてより作業しやすい環境になったと思います。これまで以上に保全業務が具体化されてより良い職場に繋がると思いました。

1級 三菱重工業株式会社 宮越 英和さん

1 ❶ ❷ ❸

2 今回成績優秀者を受賞することができたのも、常にTPMを意識して日々の業務を行う環境を整えてくれた上司、同僚含む職場全員のおかげだと思います。今回資格試験の勉強で学んだことを成績優秀者受賞だけで終わらせるのではなく、自他職場に還元し、業務に活かしていくとともに、今後の職場の改善活動の中心となり、人材の育成ができるように自分自身も精進していきます。

3 改善・解析手法を学んだことで、ECRSや5W2H質問法、動作研究で解析を行い、職場でより効果の高い改善を行うことが出来ました。また、自主保全の基礎知識を学んだことで、品証部門の立場からでも工作部門の設備に対してアドバイスや教育をを行うことができ、故障の未然防止の一翼を担うことができました。

2級 三菱マテリアル株式会社 増田 行矩さん

1 ❷ ❸

2 この度このような賞を頂くことができ、大変光栄に思います。河合会長のコメントにあった通り、自主保全士を取得した地点がゴールではなくスタートであることを肝に銘じて、引き続き自主保全に努めて参りたいと思います。

3 設備維持の基本条件である清掃・給油・増締めについて気を配るようになりました。今まで私が担当する設備の油漏れを確認したことはありませんが、これも3項目を守って設備の強制劣化を防いでいるためだと思います。

2級 株式会社リコー 中村 博幸さん

1 ❶ ❷ ❸

2 今回は自部署では初めて受験しました。勉強も過去問題集（学科・実技）とテキスト、さらに詳細はインターネットで検索し自主勉強で試験に挑みました。合格の自信はありましたが成績優秀者は想定外でしたのでうれしく思います。今後は自主保全士１級の取得や設備診断技能士など幅を広げ保全のエキスパートを目指します。

3 入社した34年前にTPM活動の第1ステップが始まったころでした。初期清掃の重要性を実際に学びながら現場の経験を積んでいきました。
今までは体験でしたが今回は勉強することで知識を得ることが出来ました。経験プラス知識を得たことで自分自身はスキルアップし、また職場では後進の教育へ生かしていこうと思っています。

2022年度 成績優秀者の皆様よりコメントをいただきました。

❶ 公式テキスト　❷ 過去問題集（学科）　❸ 過去問題集（実技）　❹ 受験準備講座（JIPM主催）　❺ 社内講習　❻ その他

2級 リョービ株式会社 今津 寛太さん

1	❶ ❷ ❸ ❺
2	コツコツ勉強してきたことが成果として現れ、成績優秀者として表彰されたことをうれしく思います。学んだことを今後の業務で生かしていきたいと思います。
3	生産に関する基本的な知識を身に着けることができました。また専門用語を知ることができ、先輩社員が話している内容が理解できるようになりました。

2級 リョービ株式会社 末永 道隆さん

1	❶ ❷ ❸ ❺
2	受賞式に参加したことで、自信をもって技術者としての一歩を踏み出せたと思います。今後は自主保全士1級を勉強したいと思います。
3	自主保全士の視点から安全や効率について考えることができるようになりました。また、管理者の考えが分かるようになりました。

1級 YKK株式会社 新保 博常さん

1	❶ ❷ ❸
2	このたびは成績優秀者に選出していただき誠に光栄に思うとともに、合格を目指して学習した結果が評価されたことはとても嬉しいです。今後は自主保全士検定試験で得た知識を職場のＴＰＭ活動や後輩の育成に活かしていきたいと思います。
3	弊社ではTPM活動を支える人財育成として自主保全士資格の取得を推奨しています。それは自主保全士検定の学習が基礎知識習得や設備に強いオペレータの育成に繋がるからです。製造職場に自主保全を浸透させ、作業者による設備点検やロス改善の活動により、設備故障を低減するなど着実に効果をもたらしています。今後は更に自主保全士検定を推進し、いきいきと全員参加での活動に繋げていきたいと考えています。

2級 YKK株式会社 柏女 哲朗さん

1	❶ ❷ ❸
2	今回はこのような賞を頂いたことに関して非常に嬉しく思います。今後は自主保全士検定で学んだことを実際に業務として活用していきたいです。
3	初期清掃や予防保全などの重要性を学び、生産を行う前や機械停止後に機械を清掃することを習慣づけたことで、不具合や故障が起こった際の発見が容易になることを実務でも実感しました。また、清掃の際に機械の普段目の届きにくい箇所も点検できることから、摩耗・故障した部品を発見でき、予防保全につなげることもできました。今後も学んだ内容を業務で実践していきたいと考えています。

2022年度 自主保全士検定試験 実施報告

1 今年度の実施状況

日本プラントメンテナンス協会は、2022年10月30日（日）に第22回自主保全士検定試験を実施した。今年度の受験申込者数は、13293人であり、主要都市ならびに全国各地の企業会場で開催した。認定（合格）者数は、1級1606人、2級4097人で、合計5703人となった（図表―1）。

図表-1 申込者数、受験者数、認定者数　単位：人

	1級	2級	合計
申込者数	4,550	8,743	13,293
受験者数	4,213	8,059	12,272
認定者数（合格者数）	1,606	4,097	5,703

2 今年度の出題について

自主保全士検定試験は、正誤判定式（二択）の学科試験、多肢選択式の実技試験からなる。学科試験、実技試験ともに①生産の基本、②設備の日常保全（自主保全全般）、③効率化の考え方とロスの捉え方、④改善・解析の知識、⑤設備保全の基礎の5科目から出題＊1している。学科・実技の試験結果については、図表―2～5に示すとおりである。

図表-2 学科試験の科目別出題数および正答率　単位：人

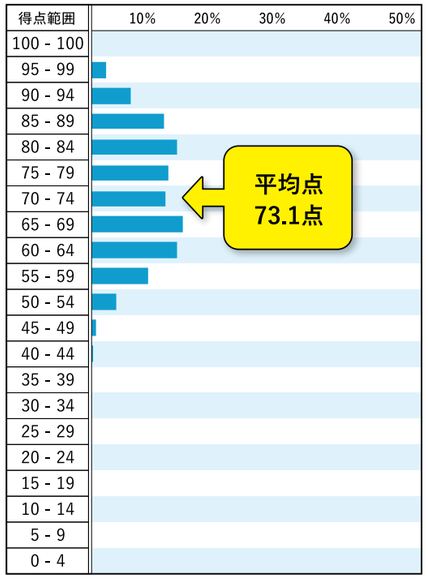
科目	1級		2級	
	出題数（問）	正答率（%）	出題数（問）	正答率（%）
①生産の基本	24	72.9	24	84.4
②設備の日常保全（自主保全全般）	18	79.7	18	82.1
③効率化の考え方とロスの捉え方	24	65.5	24	70.2
④改善・解析の知識	10	72.9	10	70.0
⑤設備保全の基礎	24	75.9	24	81.2
合計	100	73.4	100	77.6

＊1）自主保全士検定試験の出題に関しては公式サイトにて公開　https://www.jishuhozenshi.jp/about/の出題範囲（科目・項目・細目）

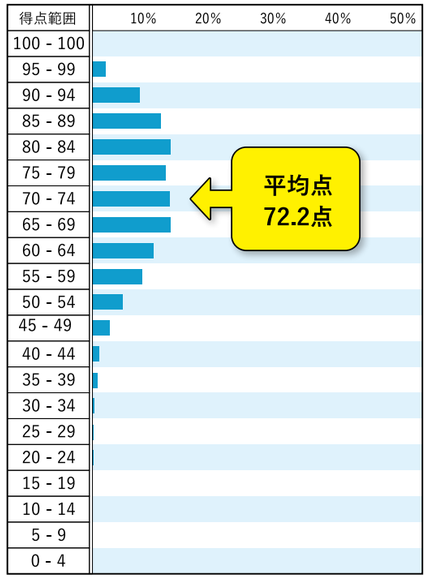
2022年度自主保全士検定試験 実施報告

図表-3 得点分布および平均点

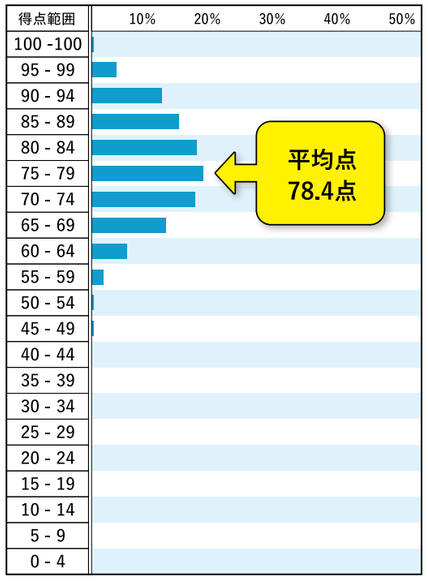
1級学科



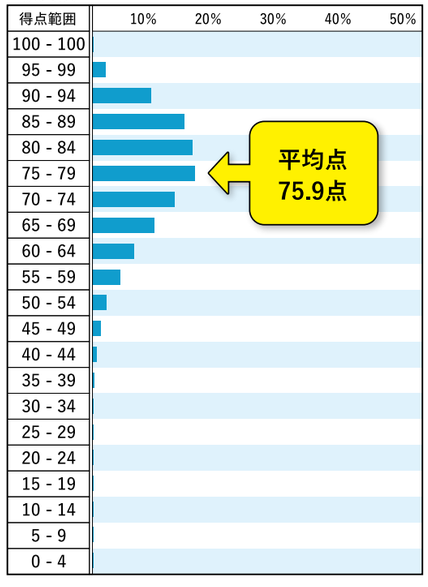
1級実技



2級学科



2級実技



図表-4 学科試験における正答率の低い問題（ワースト5）

1級

No.	問題文	正答	正答率(%)
1	生産統制は、サークル活動の活性化を目的として、安全管理、品質管理、設備管理の３つの管理から成り立つものである。	×	23.4
2	時間基準保全（TBM）は、予知保全とも呼ばれる。	×	38.7
3	操業度を阻害するロスの１つは、編成ロスである。	×	43.7
4	工程能力における規格の上限値が54、下限値が42、標準偏差が2の場合、工程能力指数(Cp)は、1.0である。	○	45.1
5	np管理図は、サンプル中にある不適合品数を不適合品率で管理するために用いられる。	×	45.3

2級

No.	問題文	正答	正答率(%)
1	企業における安全管理は、法令で定められた基準に従わなければならない。	○	41.4
2	不安全状態は、災害や事故を起こす原因となる人の行動である。	×	42.7
3	フェイルセーフとは、機械や設備に異常が発生しても、安全側に作動するように配慮された設備の考え方である。	○	48.5
4	ハインリッヒの法則によると、1件の休業災害を起こす裏には、100件の不休災害があるとされている。	×	49.3
5	単にヒヤリとしただけの無災害事故も、ヒヤリハットの件数に含める。	○	49.5

図表-5 実技試験 出題課題と正答率

1級 ※配点については非公開

No.	課題名	正答率(%)
1	KYT(危険予知訓練)	79.1
2	品質保全	57.1
3	自主保全活動支援ツール	88.0
4	総点検	68.2
5	設備／プラント総合効率	58.5
6	故障ゼロの考え方	78.1
7	解析手法	66.4
8	作業改善のためのIE	61.7
9	締結部品	82.9
10	図面の見方	81.6

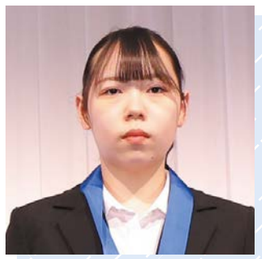
2級 ※配点については非公開

No.	課題名	正答率(%)
1	作業の安全	93.2
2	5Sに関する知識	76.1
3	自主保全活動支援ツール	93.7
4	自主保全仮基準書の作成	87.7
5	設備／プラントの効率化を阻害するロス	69.5
6	故障ゼロの考え方	78.9
7	QCストーリー	71.6
8	自主保全仮基準書の作成	59.7
9	潤滑	68.5
10	図面の見方	84.3

自主保全士
自主保全士優秀者表彰式
1級
受賞者

自主保全士優秀者表彰式

自主保全士
自主保全士優秀者表彰式
2級
受賞者



自主保全士
自主保全士優秀者表彰式
2級
受賞者

自主保全士が
土台となって変わる。

22年以上の試験実績累計34万人の利用者数

企業の活用事例等は公式サイトに掲載中
https://www.jishuhozenshi.jp/

資格認定 モノづくり現場の基盤強化に役立つ

自主保全士検定試験

自主保全活動の効果

設備が変わる
自主保全活動を行うことで、
不具合の発生しない
きれいな設備になります。

人が変わる
自主保全活動を行うことで、
オペレーター1人ひとりの考え方や
意識・行動が変わります。

現場が変わる
自主保全活動を行うことで、
生産性の高い最適な
職場体質に変わります。

第23回（2023年度）自主保全士検定試験は、下記の通りに実施いたします。

試験日：2023年10月29日(日)

受験申し込み期間：2023年7月3日(月) ⇒ 8月18日(金)17時まで
※詳細のスケジュールは、公式サイト・受験案内にて公開中

	受験手数料	受験資格
1級	9,460円（税込）	実務経験4年以上
2級	7,370円（税込）	実務経験0年（不要）

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

自主保全士認定制度　～設備に強いオペレーター～

自主保全士 オンライン試験（IBT方式）

2023年度 受験案内

受験申込み・受験手数料支払い期間
2023年1月16日(月)10時00分 ▶ 2023年2月17日(金)23時59分

オンライン試験実施期間
2023年1月16日(月)10時00分 ▶ 2023年2月22日(水)23時59分

2023年度受験概要は公式サイトにて公開中

自主保全士認定制度 公式サイト
https://www.jishuhozenshi.jp

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

22年以上の試験実績 累計約35万人の利用者数

資格認定 設備に強いオペレーター

自主保全士通信教育

設備が変わる
不具合の発生しない
きれいな設備になります。

人が変わる
オペレーター1人ひとりの
考え方や意識・行動が
変わります。

現場が変わる
生産性の高い最適な
職場体質に変わります。

多くの企業で活用されている資格です。

自主保全士が土台となって変わる。

通信教育で、いつでも、じっくり学び、確かなスキルに

添削レポート5単位分修了後に**認定試験**にチャレンジ！
合格すると**「自主保全士」**に認定

在宅勤務の方にもオススメです
通信教育でも資格取得!!

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

◀企業の活用事例等は
公式サイトに掲載中
https://www.jishuhozenshi.jp/

「自主保全活動」とは、オペレーター1人ひとりが自分の使っている設備を管理でき、設備の正しい姿を維持する活動です。そのためには、自分の設備は自分で守る、いわゆる『**設備に強いオペレーター**』を現場に浸透させる必要があります。オペレーターは、オペレーションのみではなく、保全の知識を身につけることで、迅速な異常発見や簡単な修理・改善ができるようになり、重大な故障を未然に防ぐことができるようになります。この能力を身につける効率的な手段が、「**自主保全士認定制度**」です。

「自主保全士」が「現場」を変える

「設備」が変わる

自主保全士取得のメリットは、設備の専門家に任せず自分の設備は自分がしっかり守る意識が定着したこと。
その結果、設備がいかに止まらないようにするか、故障の未然防止はどのようにすれば良いかという意識が芽生えた。その結果、不具合の発生しないきれいな設備になりました。

（自動車系：T社）

「人」が変わる

当初の自主保全士取得は、製造部門のみだったが、技術部門やアルバイトにも受験対象を拡大。自主保全士の有資格者が増加するにつれて、一人ひとりの専門用語への理解が深まり、技術的な専門用語を含めた会話ができるように。部門を跨いだ専門用語の共通化によりコミュニケーションアップ！

（非鉄金属系：R社）

通信教育のコース概要

受験資格

1級 ▶ 実務経験4年以上
2級 ▶ 実務経験0年（不要）

実務経験については、公式サイトをご確認ください。

スケジュール

レポート（5単位分）

申込期限 ▶ 開講前月12日まで
開講日 ▶ 毎月1日
受講期間 ▶ 5ヵ月間（在籍：8ヵ月）

●教材（テキスト5冊）は、開講日直前に送付します。

認定試験（4回／年）

実施月 ▶ 3・6・9・12月

●受験には、各実施月2ヵ月前の末日までにレポート添削が修了する必要があります。ただし、受講開始後3ヵ月以上の経過が必要です。
●認定試験結果が不合格の場合、1回に限り、次回の認定試験を追試験として受験可能です。

認定基準

全5単位の添削レポートを修了し、かつ認定試験にて合格

●添削レポート、認定試験には、各々合格点が設定

受講費（税込）

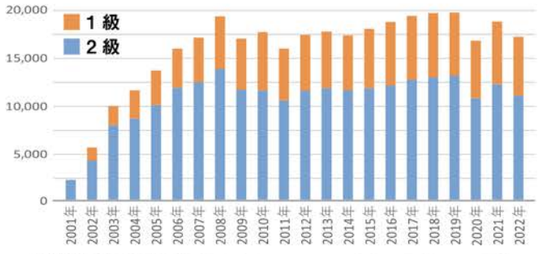
1級 ▶ 一般 ¥35,200　特別 ¥30,800
2級 ▶ 一般 ¥29,700　特別 ¥25,300

※2024年4月より、料金改定を予定しております。

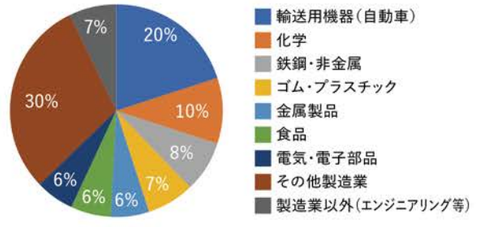
●特別受講料は、1回の受講申込で5名以上（1,2級あわせて）の申込みの場合、または公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の会員に限り適用されます。

20年以上の試験開催と幅広い製造業での利用実績

▶ 2001年から現在に至る22年の試験実績
▶ 累計利用者 約35万人の利用実績
▶ 毎年450企業・団体での活用実績
▶ 累計認定者数20万人以上の製造現場への輩出実績



級別申請者の推移（検定試験、オンライン試験、通信教育の合計）



団体申込の業種別傾向

通信教育のお申込みは、公式サイトから

https://www.jishuhozenshi.jp/
お問い合わせの際は、公式サイト内のお問い合わせフォームから

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

自主保全士検定試験 **受験勉強の強い味方**

自主保全士検定試験準備講座2023

講座概要・受講メリット

過去検定の出題傾向に基づいて選定された問題を解説する受験準備講座です。
「どこから勉強すれば良いの？」「答えの暗記だけでなく、現場で使える能力を向上したい」など、試験勉強に限らず、現場でも役立つ情報を取得したい要望にも応える講座です。

選べる受講スタイル

集合/ライブ配信/オンデマンドから選択して受講できます。

オリジナルテキストで出題傾向を把握

過去問題に基づいたオリジナルテキストで学習することで、試験の出題傾向を把握できます。

ワンポイントアドバイス

課題ごとに、特に学習してほしい要点をアドバイスします。

本講座の特徴・サンプルを動画で

自主保全士検定試験準備講座の特徴・サンプルを動画で確認することができます
※ 自主保全士検定試験準備講座お申込みサイトよりご覧いただけます

お申込みは、下記サイトから
https://info-jipm.jp/seminar-top/
→自主保全士検定試験準備講座へ

２０２３年度の自主保全士検定試験は、１０月２９日（日）です！

▶受講スタイルを３種類ご用意しております

集合セミナー

講師からの直接解説や質問ができる！臨場感のある受講を！

- **開催会場：名古屋大同生命ビル**
  - ※ 近隣会場に変更となる場合がございます
  - ※ 会場の詳細は、開催2週間前にお送りする受付票をご参照ください
- **受講定員があります**

ライブ配信セミナー

場所を問わず、講師からの直接解説や質問ができる！

- **ライブ配信は、Zoomで配信**
  - ※ 開催１週間前に、参加URLをご案内予定
- **受講定員はございません**

テキストは、2種類ご用意（集合セミナー・ライブ配信セミナー）
① 自主保全士受験準備講座　オリジナルテキスト（JIPM発行）
② 自主保全士検定試験　公式テキスト（JMAM発行）

第１回	8月28日(月) ～ 29日(火) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	2級	集合セミナー 名古屋 大同生命ビル
第２回	9月12日(火) ～ 13日(水) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	1級	集合セミナー 名古屋 大同生命ビル
第３回	9月19日(火) ～ 20日(水) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	2級	ライブ配信セミナー
第４回	9月26日(火) ～ 27日(水) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	1級	ライブ配信セミナー
第５回	10月3日(火) ～ 4日(水) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	2級	集合セミナー 名古屋 大同生命ビル
第６回	10月16日(月) ～ 17日(火) ※ 両日とも受講時間は、9:30～16:50	2級	集合セミナー 名古屋 大同生命ビル

オンデマンドセミナー

自分のペースで時間や場所を問わず、繰り返し学習したい！

- **オンデマンドは、専用システムを使用してご覧いただきます。**
  - ※ お申込み前に、下記リンク先にアクセスのうえ、「ゲストとしてログインよりサンプル動画をご覧ください」をクリックしてください
  - ※ ゲストとしてログインいただくと、サンプル動画を確認できます

https://info-jipm.jp/seminar-top/ondemand-seminar/

- **受講定員はございません**

テキストは、１種類ご用意（オンデマンドセミナー）

① 自主保全士受験準備講座
オリジナルテキスト（JIPM発行）

※ オンデマンドセミナーでは、自主保全士検定試験 公式テキスト（JMAM発行）は、付属しません
推奨テキストですので、お手元にない方は、ご購入の検討をお願いいたします
ご購入は、JMAM公式サイトから
https://pub.jmam.co.jp/book/b613885.html

7月26日(水)リリース（1級・2級）
視聴期間：申込み/事務手続き完了後～11月下旬

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance
◆ お問い合わせは、日本プラントメンテナンス協会 普及推進部まで
TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081）　E-mail：SEMINAR@jipm.or.jp

使用テキストのご紹介

自主保全士検定試験準備講座 オリジナルテキスト（小会発行）

オリジナルテキストは、過去の出題傾向や正解率をもとに学習の要点をおさえた内容となっています。
「どこから学習すればよいの？」という方には、学習の導入教材としておススメです。
※ 本講座受講の方のみにご提供
（書店などでの販売はございません）

集合セミナー	受講当日に配付
ライブ配信セミナー	受講前に送付
オンデマンドセミナー	受講前に送付

自主保全士検定試験 公式テキスト（JMAM発行）

公式テキストは、自主保全士認定制度で出題される内容・範囲に則って編集されています。
また、オリジナルテキストよりも充実した内容で、試験勉強のみならず、より実践的な自主保全士を学ぶことができます。
※ JMAM公式サイトで購入できます

集合セミナー	受講当日に配付
ライブ配信セミナー	受講前に送付
オンデマンドセミナー	ご自身で準備

集合セミナー 会場案内

名古屋大同生命ビル2階 研修室

<住　所>
名古屋市中村区名駅 4-23-13 名古屋大同生命ビル2階
<アクセス>
JR、名鉄、近鉄地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分
<開催時間>
9：30～16：50　（開場/受付は、9：15～）

試験までのスケジュール

内容	実施日程・期間
受験案内公開	4月3日（月）
団体申込み用受験名簿フォームダウンロード期間	6月1日（木）10:00 ～ 8月15日（火）12:00
企業会場申請期間	7月3日（月）10:00 ～ 8月15日（火）17:00
受験申込み期間	7月3日（月）10:00 ～ 8月18日（金）17:00
団体申込み用請求書ダウンロード	9月8日（金）10:00 ～（入金締切10月末日）
受験票発送	9月29日（金）
試験日	10月29日（日） 開場11:15 →説明開始11:30 →試験時間11:45～13:45（試験時間120分）
正答例の公開	11月2日（木）10:00
認定（合格）者発表	12月11日（月）10:00
結果通知・認定証書発送	12月22日（金）

※ 受験のながれ、スケジュールなどの詳細は、
自主保全士検定試験受験案内をご確認ください

参加申込規定

※ 下記の規定は、抜粋版となります。
詳細はお申込みサイト(https://info-jipm.jp/seminar-top/)でご確認ください

1．参加料 1級/2級 共通

会員以外の方は、この機会にぜひ小会会員へのご入会をご検討ください

受講スタイル	(公社)日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業会員) (公社)日本能率協会 法人会員	一般
集合セミナー	26,400円/人(税込) (本体価格24,000円 消費税2,400円)	40,700円/人(税込) (本体価格37,000円 消費税3,700円)
ライブ配信セミナー		
オンデマンドセミナー	15,400円/人(税込) (本体価格14,000円 消費税1,400円)	22,000円/人(税込) (本体価格20,000円 消費税2,000円)

※ 受講料には、オリジナルテキスト代が含まれております。公式テキストは、集合セミナーならびにライブ配信セミナーには含まれております
（オンデマンドセミナーご受講の方で、公式テキスト購入を希望する場合は、JMAM公式サイトよりご購入ください）
※ 昼食のご提供はございません
※ 会員ご入会の有無につきましては、下記サイトにてご確認ください
- (公社)日本プラントメンテナンス協会　<https://www.jipm.or.jp/>
- (一社)日本能率協会　<https://www.jma.or.jp/>

2．参加申込方法・参加料支払い方法

- 派遣窓口ご担当者様および参加者が「参加申込規定」に同意したうえで、小会より申込ください。FAX・お電話でのお申込みはできません

お申込みは、下記サイトから
https://info-jipm.jp/seminar-top/

- 開催約2週間前より派遣窓口ご担当者様あてに請求書を送付しますので、小会指定の銀行口座に振込ください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください

3．お願い・お断り

- 録音、録画、撮影、およびSNSへの投稿は厳禁です。守れなかった場合、著作権、肖像権侵害として対処することがございます。また、今後の参加をお断りすることがございます
- 下記の規定により、キャンセル料を申し受けますのであらかじめご了承ください
  - ※ 開催当日および前日の参加取消し　：参加料全額（参加料入金済の場合、返金しません）
  - ※ 開催の2～7日前の参加取消し　：参加料30%（参加料入金済の場合、70%を返金いたします）

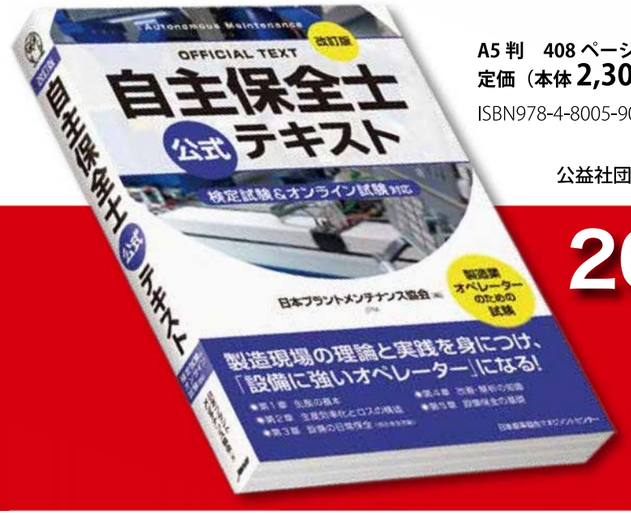
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance
◆ お問い合わせは、日本プラントメンテナンス協会 普及推進部まで
TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081）　E-mail：SEMINAR@jipm.or.jp

改訂版

OFFICIAL TEXT

自主保全士 公式テキスト

検定試験＆オンライン試験対応



A5判　408ページ
定価（本体2,300円＋税）
ISBN978-4-8005-9056-5 C3053

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 編

2023年度以降の試験は本書から出題されます

製造業オペレーターのための試験

製造現場の理論と実践を身につけ、「設備に強いオペレーター」になる！

- ☑ 6年ぶりに、公式テキストが全面改訂！
- ☑ 2023年度以降の出題内容・範囲（科目・項目・細目）に完全対応！
- ☑ オペレーターに求められる4つの能力、それを支えかつ補完する5つの知識・技能を学ぶ
- ☑ 2001年より実施している検定試験ならびにオンライン試験にも対応！

JMAM 株式会社 日本能率協会マネジメントセンター

自主保全士公式サイトにて、自主保全マンガを掲載中!

マンガでわかる
自主保全士のすすめ

マンガでわかる
自主保全士のすすめ

マンガでわかる!!①
自主保全入門

マンガでわかる!!②
自主保全入門

マンガでわかる!!③
自主保全入門

自主保全士公式サイト
https://www.jishuhozenshi.jp/

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
製造現場向けのオンデマンドセミナーのご紹介

JIPMオンデマンドセミナーの特徴

①受講者自身の勤務形態やライフスタイルに合わせて受講可能
⇒期間中、何度も見直せるので、理解度に合わせて進めることが可能
90日間いつでも、自宅や職場でPC・スマホでどこでも学習が可能

②365日受講申し込みが可能！
⇒公開講座と異なり、いつでも受講できます。

③かかる費用は受講料だけ。
⇒受講者の好きな場所で受講できるので、
原則、出張費などの費用は発生しません。

～提供しているオンデマンドセミナーの例～

- TPMの目的とその構造を体系的に理解できる
  「管理監督者のためのTPMはじめの一歩」
- 保全業務PDCAをまわすための、「故障解析手法の基礎」が学べる
  「故障から学ぶ設備保全入門」
- 保全業務を理解し、保全費用適正化に向けた計画保全の基礎的な内容を学べる「計画保全入門講座」
- 自動化・IoTを活用するために必要な知識・技能を専門家からゼロから学ぶ「ロボット・メカトロ基礎講座」

オンデマンドセミナーは、今後も続々新規開講予定です

詳細は、オンラインセミナーの一覧をご確認ください！
⇒ https://bit.ly/3qoYk4b

第28回 現場が貢献する脱炭素・カーボンニュートラル
からくり改善®くふう展2023
究極の現場力がここに結集！

日 程 知恵とくふうが凝縮した輝く改善
2023年11月15日(水) ▶ 16日(木)
10:00▸16:30(最終日は16:00まで)

9月4日より申込開始！

会 場 ポートメッセなごや 第３展示館

84社350事例が出品!! トヨタ自動車、サントリープロダクツ、パナソニックなど多数出品!!

「からくり改善®」が課題・問題解決に貢献します！

- 発想力を持った現場に強い人財の育成
- 無動力・他動力・低推力で環境へ貢献！
- 難作業をラクラク作業へ！ダイバーシティな現場づくり
- 知恵を活かしたローコストな自働化を実現！

「発想のきっかけ」や「苦労話」、「改善への想い」を生の声で聞けます！

○重筋作業や作業効率の改善、脱炭素に寄与した事例など多数展示!!
○様々な特別企画を開催!!

詳細は「からくり改善HP」にてご確認ください ▶▶

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

からくり改善 検索

からくり改善サイト

「からくり改善」は公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の登録商標です

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
自主保全士検定事務局
Email：jishuhozenshi@jipm.or.jp
https://www.jishuhozenshi.jp